

市役所の電話番号



市役所代表(夜間休日受付) 32・2111

- 庁舎内 本庁業務時間 8:30~17:15**
- 税務課 (固定資産税) 32・2115 (市民税) 32・3821 (納税) 32・3928 (諸税) 32・3845
 - 都市整備課 32・2118
 - まちづくり推進課 (高速道路) 32・3957 (32・3815)
 - 秘書政策課 32・3802 (政策調整) 32・2127
 - 戸籍住民課 32・2112
 - 人事課 32・3804
 - 市民生活課 (公共交通・生活支援) 32・2132 (環境企画・公害) 32・2147
 - 総務課 (統計) 32・2123 (32・3803)
 - 保険年金課 (国民健康保険) 32・2113 (医療・年金) 32・4120
 - 監査委員事務局 32・3805
 - 選挙管理委員会 32・3807
 - 生活福祉課 32・3931
 - 財政課 32・2191
 - 会計課 32・2116
 - 児童福祉課 32・2114
 - 農業委員会 32・3810
 - 介護福祉課 (障がい福祉) 32・2279
 - 農林水産課 34・9292
 - 商工観光課 32・3809
 - 住宅課 32・2120
 - 危機管理課 32・2227
 - 建設管理課 32・2121
 - 消防本部 32・0119
 - 電算管理課 32・3808
 - 議会事務局 32・1359

出先機関

- 人権推進課 32・2122
- 競輪局 32・0290
- 小松島解放センター 32・5711
- 水道課 32・6188
- 目佐解放センター 37・0358
- 環境衛生センター 32・8290
- 泰地総合センター 33・0194
- 葬斎場 35・1059
- 世代間交流健康センター 32・2595
- しらさぎ浄園 38・1452
- 学校課 32・3811
- 総合福祉センター 33・2255
- 教育政策課 32・3813
- 中央会館 32・2030
- 生涯学習課 32・2700
- 保健センター 32・3551
- 市立図書館 32・1100
- ミリカホール 32・3565
- 青少年健全育成センター 32・1398
- 消費生活センター 38・6880
- スポーツ振興室(市立体育館) 38・1788

音声案内

- 防災行政無線 35・4000
- 火災の問合せ 32・5000

定期的に関われている主な無料相談

◎印の実施日が祝日のときは、休みとなります。

名称	実施日	時間	会場	問合せ先
行政相談				秘書政策課 ☎32-3812
人権相談				人権推進課 ☎32-2122
もの忘れ相談	5月18日	13:30~16:00	市総合福祉センター	☎33-4040
耐震診断 耐震改修	◎毎週月~金曜日	8:30~17:15	市住宅課(市役所2階)	住宅課 ☎32-2120
心配ごと相談	◎毎週火曜日 ※毎月第5火曜を除く	9:30~15:00	市総合福祉センター	☎33-2255
家庭児童相談 ひとり親家庭相談	◎毎週月~金曜日	8:30~17:15	市児童福祉課(市役所1階)	☎32-2114
消費生活相談	◎毎週月~金曜日	9:00~16:00	消費生活センター	☎38-6880
読書相談	図書館開館日	9:30~18:00	市立図書館	☎32-1100
無料法律相談				☎32-2123

	実施日	時間	業務内容	場所
休日納税窓口	5月24日	8:30~17:15	市税・保険料の納付、納税相談	税務課 ☎32-3928
休日交付窓口	5月24日	8:30~17:15	住民票・戸籍・印鑑登録等各証明書およびマイナンバーカードの交付	戸籍住民課 ☎32-2112

一般社団法人 全国ホームホスピス協会正会員
介護医療24時間体制 ケア付きシェアハウス

徳島とも暮らしの家 ふくい

「中田八幡社前」(バス停)徒歩1分

*** あなたのリズムに合わせるホームホスピスケア ***
運営法人 あわホームホスピス研究会
相談窓口 Tel 080-6283-1152 (五反田)

広報こまつしま有料広告募集

- ◆ 広告サイズと掲載料金 (1か月分)
- ◎ 1号広告 20,000円 (縦47ミリ・横88ミリ)
 - ◎ 2号広告 35,000円 (縦47ミリ・横179ミリ)
 - ◎ 3号広告 35,000円 (縦100ミリ・横88ミリ)
 - ◎ 4号広告 60,000円 (縦100ミリ・横179ミリ)

お申し込み、お問い合わせは、
市秘書政策課広報担当(市役所3階 ☎32・3812)まで。

小松島市の木質素材応援コーナー 花粉対策にも木づかい



スギ花粉の季節はそろそろ終わりですが、花粉症に悩む方にとってスギは無くしたいものかもしれません。山にあるスギの木を使って減らすこと、つまり木づかいは花粉対策にもなります。植林する際にもスギ以外の花粉の少ない樹種を植えたりする活動が進められています。スギから花粉の少ない樹種への転換が進めば、長期的にわたり花粉症対策の効果が見込めます。

日本はスギの植林に適した地域が多いと考えられていることから、今後も当面は植林においてスギが主流となると思われますが、様々な角度から長い目を見た対策が重要です。



広報こまつしまは、再生紙を使用しています。(古紙含有率70%)
リサイクル品回収に出す場合は、資源ごみ(新聞)にて出してください。